●ご利用者様、ご家族とらいふ職員をつなぐ架け橋●

らいふ通信(在宅介護版)

令和2年4月号　第9号　制作：㈱らいふ　TEL 03-5769-7266

1.新型コロナウイルス感染拡大に伴う当社対応

昨年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルスの発生が断続的に報告されています。新型コロナウイルスに感染すると、発熱(37.5°以上)や咳などの呼吸器症状が現れ、高齢者や基礎疾患がある場合には、重症化するおそれがあります。下記にて、当社の対応をご案内致します。

1.従業員の自己管理徹底

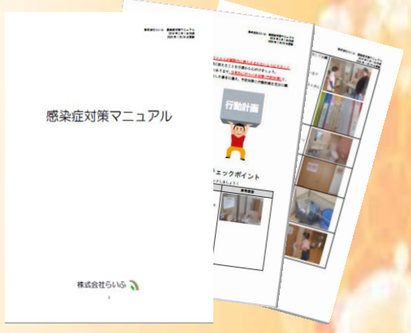
- 既に規定されている『感染症対策マニュアル』に基づく対応を実施。
- 手洗い・アルコール殺菌・マスク着用を再度徹底し、励行する。
- 出勤前に自宅で検温を実施。発熱時（３７．５℃以上）の場合は、上長へ報告。出勤しない。
- 出勤時、電子体温計で検温を実施。所定の『個人体調管理表』へ検温結果を記入。検温結果以外のチェック項目へ記入を行い、自覚症状の有無について管理表に残す。
- 出勤時の体調チェック時に、インフルエンザ等の症状または、下痢・嘔吐の症状があった職員は、症状が治まるまで出勤しない。
- 施設長は、出勤前の職員の検温及び体調の結果について、毎日、報告を受ける。

▲個人体調管理表

※全事業所・全職員が、出勤日は 毎日検温と体調チェックを行っております。

2.勤務時の徹底事項

- 外出時は必ず「マスク」を着用すること。
- 外出後は必ず「手洗い」「うがい」「アルコール殺菌」を徹底すること。（手洗いは石鹸で最低15秒以上行い、清潔なタオル等で水を十分に拭き取る。）
- 利用者へのサービスに入る際には、必ず「マスク」を着用の上、「手洗い」「うがい」「アルコール殺菌」を徹底すること。
- 利用者及び利用者家族に咳や鼻水が出る、突然の高熱、全身のだるさ、頭痛、筋肉痛等がある場合は、上長に報告しサービス提供中止等の指示を受けること。
- 利用者へのサービスの実施時は「1ケア1手洗い」を励行すること。
- 人の多く集まる場所への外出は可能な限り控えること。
- 咳やくしゃみはティッシュや手で口と鼻を覆い、1m以内に人がいない場所で行い、覆った手は必ず石鹸で丁寧に洗うこと。



▲感染症対策マニュアル

皆様にはご不便をお掛け致しますが、ご利用者様の生活のお手伝いをする介護業者として、日常の生活の継続と安心・安全を守る為、何卒、ご理解いただきご協力の程重ねましてお願い申し上げます。

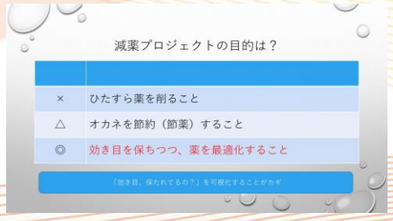
新型コロナウイルスに関して、当社対応を随時ホームページに掲載しております。下記、URLよりご覧いただけます。
https://www.life-silver.com/life_news/news/20200221_5.html

2.東京大学 客員准教授 五十嵐先生による特別講演会が開催されました！

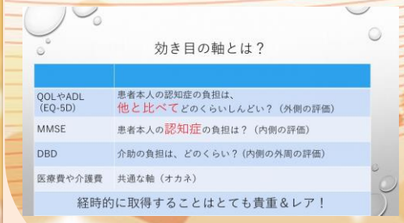
2020年2月21日(金) 当社の本社にて、東京大学の五十嵐客員准教授による特別講演会が当社の運営する全施設の管理者向けに開催されました。『 認知症と医薬品適正使用の意義と有用性 』というテーマで講話いただき、当社取締役との対談も合わせて行いました。　また、当社が五十嵐先生方と進めている「薬とケアの最適化に向けた認知症入居者への減薬取り組み」についても、取り組みの進捗や今後の展望など解説していただきました。

ご説明頂いたスライド(抜粋)

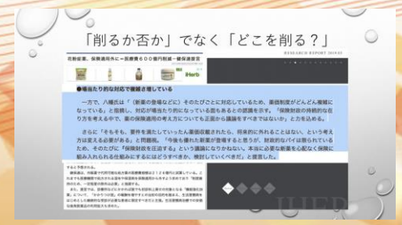
▲抗議テーマ



▲講演会の様子



▲減薬の効き目について



▲薬の保険適応の考え方について

登録ヘルパー大募集！！

時給

介護保険サービス
身体介護　2,250円～
生活援助　1,750円～

未経験者大歓迎！　年齢・性別不問
勤務地：①本社　②代々木事業所

問い合わせ先：㈱らいふ　ケアサービス統括チーム
（担当：山田 ・ 太田）

☎ 03-5769-7266

◆名前:山本清次
◆職種:介護支援専門員
◆趣味:スポーツ観戦

【東京大学 客員准教授 五十嵐先生との特別対談】

3.第1回 減薬の取り組みについて

東京大学　五十嵐先生と㈱らいふ取締役 小林

東京大学大学院
客員准教授
五十嵐 中先生

×

株式会社らいふ
取締役
小林　司

当社の本社にて、東京大学 客員准教授 五十嵐先生と当社取締役小林が当社が産学協同で進めている『 薬とケアの最適化に向けた認知症入居者への減薬取り組み 』をテーマに特別対談を行いました。対談内容を2回に分けてご紹介致します。

■ 減薬の取り組みについて

小林≫ 改めて、現在、五十嵐先生方と進めている**「薬とケアの最適化に向けた認知症入居者への減薬取り組み」の意義とは何でしょうか？**

五十嵐≫ 現在，厚生労働省が策定している「高齢者の医薬品適正使用の指針」に則り，御社とその指定医療機関と連携して，医薬品の適正使用に取り組んでいるところですね。超高齢社会の突入に際し，高齢者に対する薬物療法の需要はますます高まっている一方，加齢に伴う生理的変化により薬物動態や薬物反応が一般成人と異なるため薬物血中濃度が上昇しやすく、有害事象や薬物相互作用が起こりやすいのです。

また、入居者の多くは認知機能の低下がみられます。認知症の症状は，ご存じの通り中核症状とBPSDに大別されます。抗認知症薬は，中核症状に対する進行抑制を主な目的として処方されています。BPSDに対しては，まず適切なケアやリハビリテーション，周囲の環境調整といった非薬物療法が望ましく，それでも改善しない場合に向精神薬を低用量から使うこととされています。しかし，実際は多くの薬剤が不適切に処方されているケースが多いのが現状といえます。

上記を踏まえ，**「安全な薬剤選択」「多剤併用の回避」「服薬頻度の低減」を大きな方針として入居者の薬剤とケアの最適化を図ることとしたわけです。これらの取り組みを継続することにより，介護サービスのより一層の品質向上を実現し，入居者に安心・安全な生活の場を提供し，QOLの維持・向上を目指しています。**

小林≫ 2018年10月に，認知症の症状悪化の予防を目的として「認知症高齢者減薬取組みプロジェクトチーム」をともに発足しました。多剤を服用している入居者の薬剤とケアの最適化を図るとともに，専用の記録にて継続的にその内容を調査することにより，入居者のQOLや認知機能，ADLがどの程度変化するのかを定量・定性両面から調査・分析し，最終的にその結果を共同研究として発表する予定ですが、**現時点でその効果は出ているのでしょうか？**

五十嵐≫ 結果については現在解析中であり、詳細な成果をここで示すことはできませんが、施設スタッフは、**薬剤調整によって起こりうる変化を事前に認識することで、医師や薬剤師に適切な情報提供を行うことが可能となり、減薬過程における入居者が大きく体調を崩したといった経験はしていません。**

むしろ精神状態が改善した、傾眠がちだった入居者が日中元気に過ごせるようになったという感覚を得ており、これまで医師や薬剤師に任せきりであった 薬の効果や副作用について施設スタッフが関心をもつようになったことも大きな成果のひとつといえます。

小林≫ 次に、この共同研究の意義とは何でしょうか？

五十嵐≫ 高齢者における薬剤の不適切な使用や多剤併用に関して，すでにさまざまな研究が存在します。多剤併用の問題は，単に経済的な問題に留まらず，①有害事象の危険性を増大させる安全性上の問題，②相互作用などに伴う効果減弱という有効性の問題—など臨床的な有用性にも大きく影響する。不適切な薬剤の投与により本来期待されている効果が発揮できないことを考慮すれば，薬剤自体の価値も引き下げることに繋がりかねません。このような点から，**適正使用に対するニーズは極めて高く，実際に薬剤の処方数と有害事象リスクの関係を評価した研究や，種々のエビデンスをもとにした高齢者向けの薬物使用に関するガイドラインが発行されている**ことは周知の通りです。

（敬称略・一部抜粋）

五十嵐中先生　プロフィール

東京大学大学院　薬学系研究科医療政策学　客員准教授

横浜市立大学医学群　健康社会医学ユニット　准教授

【略歴】

2002年東京大学薬学部薬学科卒業。2008年東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了。2008年から東京大学大学院薬学系研究科特任助教、2015年から同特任准教授を経て、2019年より現職。

4.訪問介護サービス内容ご紹介します！

らいふの訪問介護事業は、介護、介助が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活が継続できるように、チーム全体でお客様を支えてまいります。24時間泊りでの支援から重度訪問介護サービス、介護保険サービスなど様々サービスを提供するために、幅広い年齢層のヘルパー110名（内、胃ろう・たん吸引等医療行為可能な資格保持者65名）が在籍しております。サービス提供エリアは東京23区全域での支援を可能にしています。

提供しているサービス一覧

介護保険

たんの吸引、経管栄養、ALS等もご対応します

障がい者自立支援

身体障害者、知的障碍者、障害児、難病等

自費サービス

２４時間パック、付き添い。お泊り、ホームクリーニング等

ヘルパー自費利用料

<日中5時間以上>

2,300円/時間

（身体介助・生活援助）

<24時間パック>

35,000円～

病院付き添い～

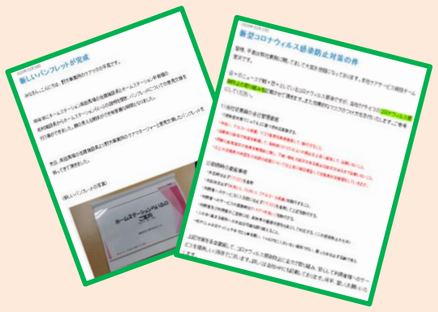
（身体介助）

経験豊富なコーディネーターが難病対応を含め、多様な支援のご相談を承っており、**施設での受け入れ困難なお客様や医療行為が必要でご家族だけの介護に不安があるお客様、ご入院中で付き添いが必要なお客様、**介護サービスは必要ないが毎日の生活を手伝ってほしいなど様々な客様のニーズに合わせたスタッフの調整をいたします。

5.㈱らいふ 在宅介護部門ブログ掲載中！

㈱らいふＨＰにてケアサービスのお知らせや職員紹介等を発信していくためにブログを行っています!
下記にて、閲覧方法をお知らせ致します。是非ご覧ください!

居宅介護支援(ケアプラン作成)、
訪問介護(ホームヘルプ)どちらを選択してもご覧になれます。随時更新していきますのでお楽しみに!!



▼こちらのページからもブログをご覧いただけます。

http://blog.livedoor.jp/life_careservice/archives/18382153.html